



平成25年11月14日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成26年3月期第2四半期(中間)決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成26年3月期第2四半期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算:個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、3兆1,006億円、前年同期から7.2%の減少。
- 解約失効高は、2兆355億円、前年同期から0.7%の減少。
- 保有契約高は、59兆3,059億円、前年度末から0.1%の増加。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、1兆574億円、前年同期から11.2%の減少。
 うち保険料等収入は、8,147億円、前年同期から18.6%の減少。
- 経常利益は、939億円、前年同期から60.9%の増加。
- 中間純利益は、407億円、前年同期から97.9%の増加。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

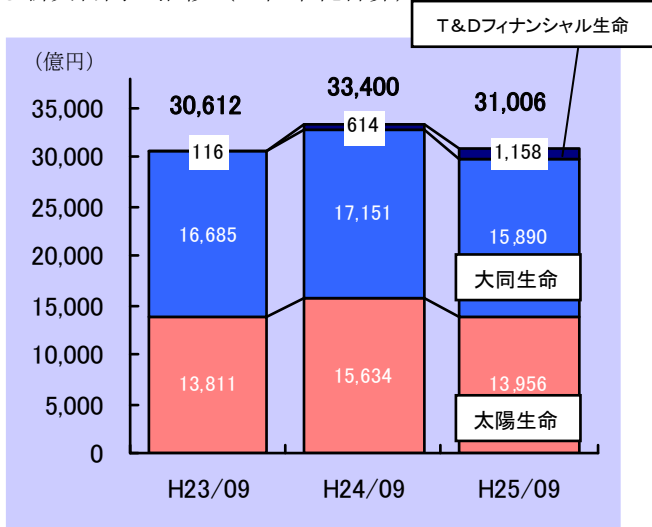
以上

【お問合せ先】

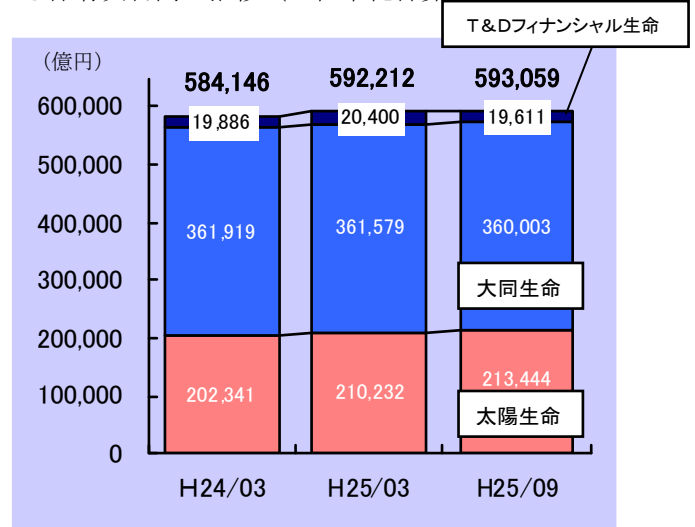
株式会社T&Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
新契約高	31,006	2,394 減 (7.2%減)	13,956	1,678 減 (10.7%減)	15,890	1,261 減 (7.4%減)	1,158	544 増 (88.7%増)
解約失効高 (解約失効率)	20,355	143 減 (0.7%減)	6,240 (2.97%)	45 増 (0.7%増) (0.09ポイント低下)	13,179 (3.64%)	723 減 (5.2%減) (0.20ポイント低下)	936 (4.59%)	534 増 (133.1%増) (2.57ポイント上昇)
新契約年換算保険料	630	206 減 (24.7%減)	216	222 減 (50.7%減)	320	31 減 (9.0%減)	93	47 増 (104.6%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	81	8 増 (11.7%増)	31	1 増 (4.2%増)	49	7 増 (17.1%増)	0	0 増 (-)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
保有契約高	593,059	847 増 (0.1%増)	213,444	3,212 増 (1.5%増)	360,003	1,575 減 (0.4%減)	19,611	789 減 (3.9%減)
保有契約年換算保険料	14,326	151 減 (1.0%減)	6,361	5 増 (0.1%増)	6,396	28 増 (0.4%増)	1,568	185 減 (10.6%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,619	9 増 (0.6%増)	989	14 減 (1.5%減)	594	25 増 (4.6%増)	35	1 減 (4.4%減)

■ 3社単純合算

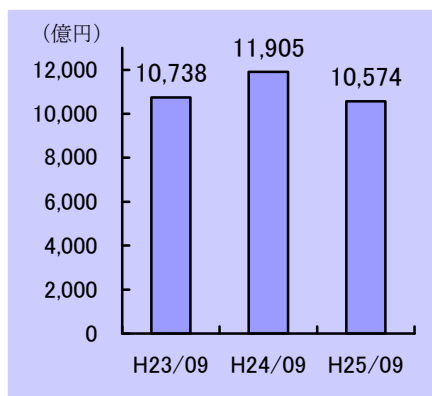
- ・新契約高は、3兆1,006億円、前年同期から7.2%の減少。
- ・解約失効高は、2兆355億円、前年同期から0.7%の減少。
- ・保有契約高は、59兆3,059億円、前年度末から0.1%の増加。

■ 各社の状況

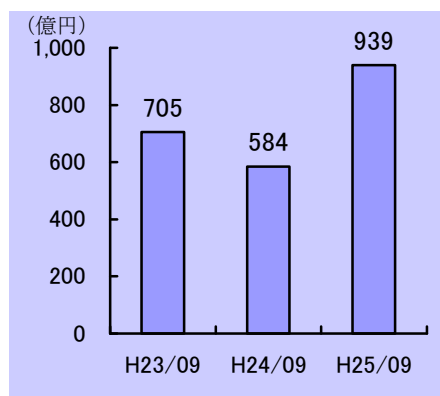
- ・太陽生命の新契約高は、1兆3,956億円、前年同期から10.7%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の販売減少による。なお、主力の個人保険の新契約高は前年同期から2.6%の増加となっている。
また、保有契約高は、2兆1兆3,444億円、前年度末から1.5%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、1兆5,890億円、前年同期から7.4%の減少。
これは主に、個人定期保険および一時払終身保険の販売減少による。
なお、主力商品の一つである「Jタイプ※」は、2,357億円となり、前年同期から21.4%の増加。これを加算した金額でみた場合、新契約高は1兆8,248億円、前年同期から4.4%の減少。また、同じ基準でみた保有契約高は、36兆9,875億円となり、前年度末から543億円の増加。
※「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」は普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額は新契約高・保有契約高には計上しておりません
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、1,158億円、前年同期から88.7%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。
解約失効高は、936億円、前年同期から133.1%の増加。これは主に、株式相場の上昇に伴う変額個人年金保険の解約増加による。

[損益関係]

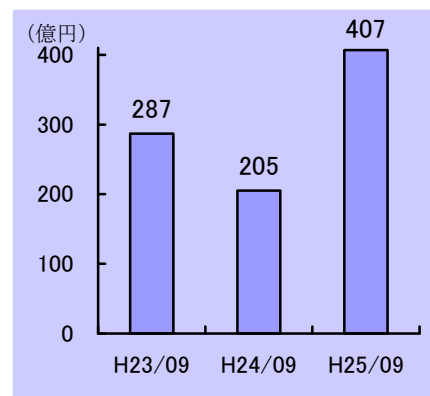
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○中間純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
経常収益	10,574	1,330 減 (11.2%減)	4,489	2,055 減 (31.4%減)	4,389	105 減 (2.3%減)	2,204	1,356 増 (159.9%増)
うち保険料等収入	8,147	1,863 減 (18.6%減)	3,516	2,036 減 (36.7%減)	3,487	293 減 (7.8%減)	1,135	463 増 (69.0%増)
うち資産運用収益	2,089	509 増 (32.2%増)	863	64 減 (7.0%減)	796	166 増 (26.3%増)	443	339 増 (324.5%増)
うち利息及び配当金等収入	1,430	206 増 (16.9%増)	774	80 増 (11.6%増)	629	115 増 (22.5%増)	34	9 増 (35.5%増)
うちその他経常収益	338	23 増 (7.4%増)	109	45 増 (70.3%増)	105	21 増 (25.9%増)	626	553 増 (764.8%増)
経常費用	9,635	1,686 減 (14.9%減)	4,150	2,075 減 (33.3%減)	3,917	307 減 (7.3%減)	2,085	1,226 増 (142.8%増)
うち保険金等支払金	7,497	850 増 (12.8%増)	3,010	303 減 (9.1%減)	2,644	199 減 (7.0%減)	1,838	1,351 増 (277.5%増)
うち責任準備金等繰入額	330	2,228 減 (87.1%減)	403	1,554 減 (79.4%減)	474	41 減 (8.0%減)	77	24 減 (24.0%減)
うち資産運用費用	453	200 減 (30.7%減)	148	92 減 (38.5%減)	212	71 減 (25.3%減)	99	103 減 (51.0%減)
経常利益	939	355 増 (60.9%増)	339	19 増 (6.0%増)	472	202 増 (74.6%増)	119	129 増 (一)
特別利益	0	2 減 (89.0%減)	—	1 減 (100.0%減)	—	0 減 (100.0%減)	—	— (一)
特別損失	151	30 増 (25.1%増)	52	23 減 (30.7%減)	96	62 増 (186.0%増)	2	9 減 (79.2%減)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	151	4 減 (2.6%減)	84	5 増 (6.7%増)	66	9 減 (12.3%減)	△0	0 減 (179.2%増)
税引前中間純利益	637	327 増 (105.6%増)	202	35 増 (21.2%増)	309	148 増 (92.1%増)	117	139 増 (一)
法人税等合計	228	125 増 (122.3%増)	70	20 増 (42.3%増)	120	65 増 (119.9%増)	33	38 増 (一)
中間純利益	407	201 増 (97.9%増)	131	14 増 (12.3%増)	189	82 増 (77.7%増)	83	100 増 (一)

(参考)

	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
資産運用関係収支 (一般勘定)	1,218	83 増 (7.3%増)	714	27 増 (4.0%増)	568	212 増 (59.6%増)	△57	157 減 (一)

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は8,138億円(前年同期比18.7%減)です。
 3. 特別損失(151億円)のうち、120億円は価格変動準備金への繰り入れです。(太陽生命：50億円、大同生命：68億円、TDF生命：0億円)
 4. 資産運用関係収支(一般勘定)は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆574億円、前年同期から1,330億円の減少。
これは主に、太陽生命と大同生命の一時払商品の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **経常利益**は、939億円、前年同期から355億円の増加。
これは主に、太陽生命・大同生命で利息及び配当金等収入が増加したこと、並びにT&Dフィナンシャル生命で株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- ・ **中間純利益**は、407億円、前年同期から201億円の増加。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、4,489億円、前年同期から31.4%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、3,516億円、前年同期から36.7%の減少。
- ・ **経常利益**は、339億円、前年同期から6.0%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **中間純利益**は、131億円、前年同期から12.3%の増加。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、4,389億円、前年同期から2.3%の減少。
これは主に、一時払終身保険の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、3,487億円、前年同期から7.8%の減少。
- ・ **経常利益**は、472億円、前年同期から74.6%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **中間純利益**は、189億円、前年同期から77.7%の増加。

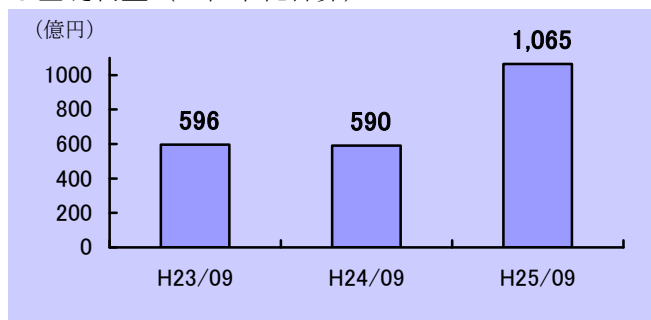
■ T&Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,204億円、前年同期から159.9%の増加。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了に伴い責任準備金戻入額が前年同期の繰入から戻入に転じたこと、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1,135億円、前年同期から69.0%の増加。
- ・ **経常利益**は、119億円、前年同期から129億円の改善。
これは主に、株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- ・ **中間純利益**は、83億円、前年同期から100億円の改善。

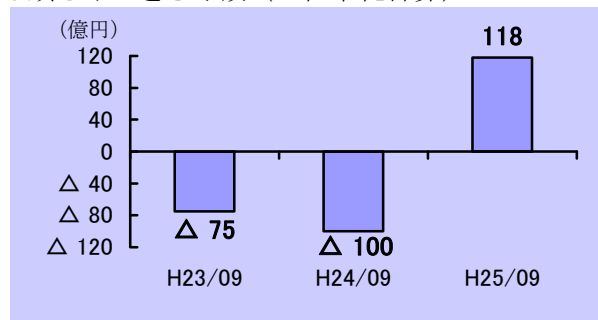
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年同期比	当第2四半期末	前年同期比	当第2四半期末	前年同期比	当第2四半期末	前年同期比
基礎利益	1,065	475 増 (80.6%増)	365	74 増 (25.8%増)	477	122 増 (34.6%増)	222	277 増 (-)
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	118	219 改善	61	86 改善	70	133 改善	Δ13	0 増

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,065億円、前年同期から475億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、365億円、前年同期から74億円の増加。
順ざや・逆ざや額の状況は、前年同期の25億円の逆ざやから61億円の順ざやとなった。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、477億円、前年同期から122億円の増加。
順ざや・逆ざや額の状況は、前年同期の62億円の逆ざやから70億円の順ざやとなった。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、222億円、前年同期から277億円の増加。
これは主に、株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が前年同期の繰入から戻入に転じたことによる。
逆ざや額は、13億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	—	—	833.1%	9.7pt 上昇	1,081.8%	38.6pt 上昇	886.1%	237.7pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	982.1%	38.3pt 上昇	838.9%	9.2pt 上昇	1,089.1%	38.7pt 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、982.1%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、833.1%、前年度末から9.7ポイント上昇。
これは主に、劣後ローン・劣後社債による調達、中間純利益の計上等に伴うソルベンシー・マージン総額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,081.8%、前年度末から38.6ポイント上昇。
これは主に、中間純利益の計上および負債内部留保の積み上げ、株価上昇による含み損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、886.1%、前年度末から237.7ポイント上昇。
これは主に、中間純利益の計上、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減
実質純資産	18,910	318 減	8,387	375 減	8,922	69 増	1,242	17 減

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は1兆8,910億円、前年度末から318億円の減少。
これは主に、内外金利上昇に伴う公社債、外国証券等の有価証券差損益の減少による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、8,387億円、前年度末から375億円の減少。
これは主に、公社債等の有価証券差損益の減少による。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、8,922億円、前年度末から69億円の増加。
これは主に、中間純利益の計上および負債内部留保の積み上げによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,242億円、前年度末から17億円の減少。
これは主に、中間純利益の計上の一方、公社債の有価証券差損益の減少による。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減	当第2四半期末	前年度末増減
有価証券の差損益	7,518	830 減	4,775	491 減	2,518	254 減	224	85 減
公社債	3,553	1,039 減	1,982	547 減	1,350	402 減	220	88 減
株式	2,693	696 増	1,822	484 増	871	211 増	—	—
外国証券	954	527 減	830	429 減	124	97 減	—	—
その他の証券	160	61 増	73	16 増	86	44 増	—	—
金銭の信託	12	5 増	—	—	7	1 増	4	3 増
買入金銭債権	143	26 減	65	14 減	78	11 減	—	—
土地等の差損益	183	16 増	△0	1 減	184	18 増	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) >

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
MCEV	約 18,370	約 1,730 増	約 6,820	約 450 増	約 10,400	約 1,160 増	約 870	約 100 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
	当第2四半期累計	当第2四半期累計	当第2四半期累計	当第2四半期累計
新契約価値	約 420	約 120	約 280	約 10

(注) 上記の数値は一部簡易な計算を行っており、第三者の検証は受けておりません。

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約1兆8,370億円と、前年度末から約1,730億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(約1兆8,110億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(約260億円)」の合計額です。
新契約価値は、約420億円となった。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約6,820億円、前年度末から約450億円の増加。
新契約価値は、約120億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約1兆400億円、前年度末から約1,160億円の増加。
新契約価値は、約280億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約870億円、前年度末から約100億円の増加。
新契約価値は、約10億円となった。

[平成26年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成25年5月15日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成25年3月期実績	平成26年3月期予想
経常収益	24,189	21,200 程度
経常利益	1,516	1,650 程度
当期純利益	637	660 程度

1株当たり年間配当金予想は22.5円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。
(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,700 程度	8,700 程度	3,400 程度
経常利益	720 程度	750 程度	160 程度
当期純利益	260 程度	280 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成26年3月期通期見通し

平成25年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,570 程度	680 程度	820 程度	70 程度
保険料等収入	17,400 程度	7,800 程度	7,300 程度	2,300 程度
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	70 程度	60 程度	30 程度	△20 程度
新契約高	66,500 程度	30,400 程度	33,400 程度	2,700 程度
保有契約高	596,400 程度	218,300 程度	359,100 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.9%程度	7.5%程度	3.5%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命の契約高に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額を加算した金額は、次の見通しです。「Jタイプ」は普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上しておりません。

新契約高 : 3兆8,300億円程度

保有契約高 : 37兆1,100億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上